

平成21年度予算総額

以上のような内容で編成した平成21年度の当初予算の総額は、一般会計 93億3,788万2千円、特別会計 66億7,057万7千円、水道会計 7億4,693万7千円、合計 167億5,539万6千円となっています。

平成21年度は、第6次松前町行政改革大綱に基づき、職員一丸となつてさらに行政改革を推進し、『飛躍』に向けたまちづくりを進めます。

平成21年度の予算規模

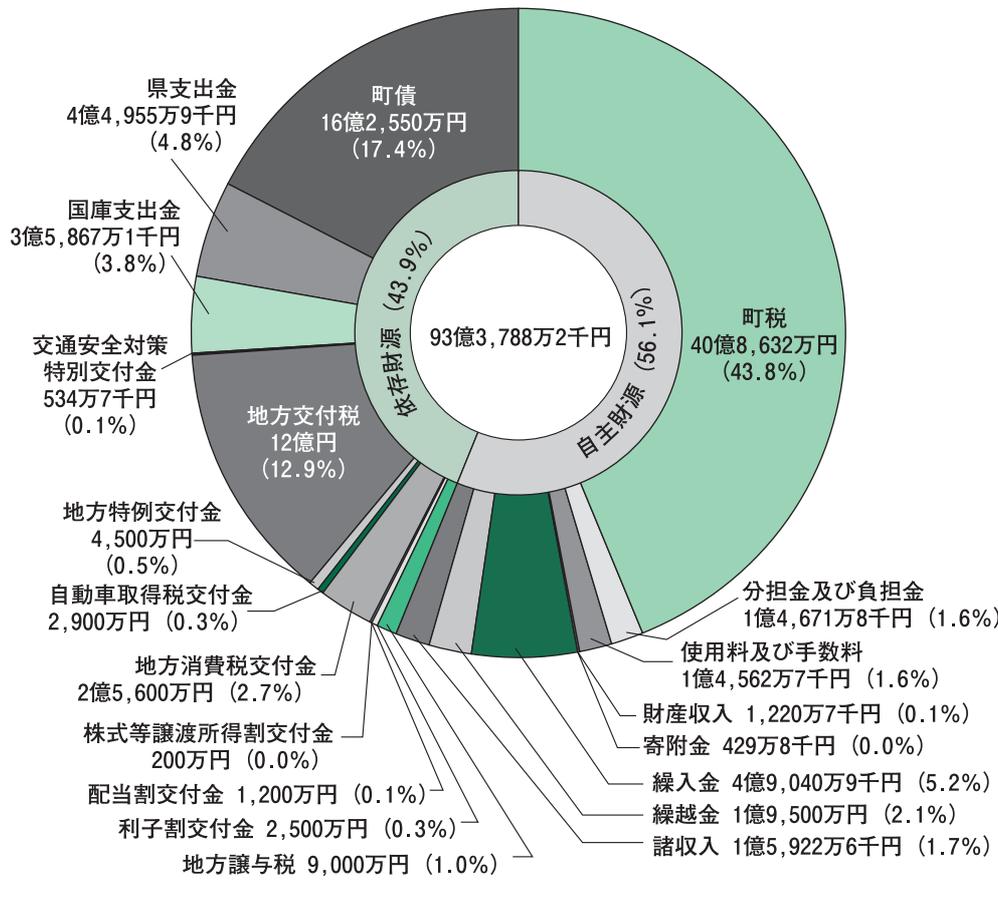
(単位:千円、%)

	平成21年度	平成20年度	増減率
一般会計	9,337,882	9,503,251	△1.7
国民健康保険特別会計	3,264,229	3,270,455	△0.2
老人保健特別会計	13,000	384,278	△96.6
後期高齢者医療特別会計	332,957	320,969	3.7
介護保険特別会計	2,236,463	2,129,843	5.0
公共下水道事業特別会計	823,928	996,299	△17.3
特別会計 合計	6,670,577	7,101,844	△6.1
水道事業会計	746,937	711,013	5.1
総額	16,755,396	17,316,108	△3.2

一般会計



平成21年度は、景気悪化の影響を受けて法人税が減少する一方で大型商業施設の出店などによる固



定資産税の増により、前年度当初予算と比較して町税が微増となっているものの、地方交付税が大幅な減額となっています。また、普通建設事業費の減額などにより国庫支出金が減るものの、財源不足に対応する繰入金や町債が大幅な増額となっています。

用語解説

一般会計

町の運営の基本的な経費を一つにまとめた会計

特別会計

特定の事業を行う場合、一般会計と区別して経理をする必要があるために作られた会計

国民健康保険特別会計

国民健康保険加入者が健康を保ち、適切な医療を受けるための費用を扱う会計

老人保健特別会計

主に75歳以上の方が健康を保ち、適切な医療を受けるための費用(平成20年3月までの費用)を扱う会計

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療の保険料を扱う会計

介護保険特別会計

介護に関するサービスや、要介護状態にならないための予防に関するサービスなどを受けるための費用を扱う会計

公共下水道事業特別会計

生活で使われた汚れた水を、きれいにして自然に還すための下水道管や、処理施設を整備する費用を扱う会計